

令和6年度 防災安全計画

生活安全班

1 目的

火災，その他発生する災害に際して，児童を迅速に避難させるとともに，校舎，学校施設及び重要書類の損失を最小限に食い止めるように努め，学校教育に支障をきたさないよう，指導訓練をする。

○低学年

- ・安全に行動することの大切さを理解し，安全のためのきまり・約束を守ることや身の回りの危険に気付くことができるようにする。
- ・危険な状態を発見した場合や事件・事故災害時には，教職員や保護者など近くの大人に速やかに連絡し，指示に従うなど適切な行動ができるようにする。

○中学年

- ・様々な危険の原因や事故の防止について理解できるようにする。
- ・危険に気付き，自ら安全な行動をとることができるようにする。

○高学年

- ・危険を予測し，進んで安全な行動ができるようにする。
- ・家族など身近な人々の安全にも気配りができるようにする。

2 訓練実施要項

(1) 発見時

災害発見者	災害場所を「〇〇が火事です（例）」と連呼しながら知らせる。
警報連絡係	非常ベルを鳴らし，放送機器や携帯マイク等を使い，校内に放送する。各方面への電話連絡をする。 ①消防署（119） ②警察署（110） ③全日警備保障（22-6181）

(2) 避難方法 『一人残らず』 『整然迅速に』

①警報（通報）があったら授業を中止し，放送を聞き，本部の指示に従う。

ア 戸締まりをする。（カーテンは閉めない）

イ 電気を消す。

ウ 速やかに，無言で避難場所に向かう。

エ 校舎内では決して走らない。校庭に出たら，やや小走りで，列を乱さずに避難場所に行き整列する。（誘導者は先頭に立つ）

オ 学年連絡係→本部へ

②学級担任は，整列後，直ちに人員その他異常の有無を確かめ，学年主任に報告する。

③校長は状況を判断し，適切な処置をとるとともに，本部を設け，全校の指揮にあたる。

④各階の責任者は，児童誘導後，残留児童がいた場合は，保護・救助の中心になり，連絡係本部以外の者が二人組で保護・救助に向かう。その際，残留児童の氏名を正確に伝え合い，連呼しながら向かう。保護したら直ちにそのことを一人が報告するか連携して本部に迅速に伝える。

⑤避難誘導に際し，特に居残り児童が居ないようにし，全体の把握に努める。

(3) 消火

児童誘導後に，直ちに初期消火に努める。

(4) 搬出

①常に重要書類の保管には留意しておく。

②児童の避難誘導を優先して，できるだけ損失を少なくする。

(5) 救護

①救急薬品箱，担架等整備しておく。

②絶えず，本部と連絡を密にして，救護所を明示し，待機しておく。

3 職員構成

本部	全般の指導	校長・教頭						
警報連絡係	警報及び各方面への連絡	教頭						
搬出係	重要書類その他搬出	教頭・主幹教諭・事務職員・教務						
初期消火係 不審者対応係	初期消火 不審者対応	管理員 学年主任以外の男性職員						
誘導係	運動場での誘導, 学年の掌握	各学年主任						
連絡係	各学級児童の状況報告を受け本部へ連絡する。(学年主任)	1年	林田	2年	金子			
		3年	青木	4年	本村			
		5年	杵尾	6年	野口			
		なかよし	荒木	くすのき	楠本			
		こすもす	池田	もみのき	小深田			
		しいのき	山北	たんぽぽ	小峰			
救護係	負傷者の応急処置, 病院への搬送手配など	養護教諭						
責 各 階 の 責 任 者	本校舎	1階	古賀	南校舎	1階	和田崇	北校舎 体育館 プール	当時の責任者 (山口)
		2階	本村/佐藤		2階	池田		
		3階	山口/野口		3階	小山田		

※各階の責任者は, 残っている児童がいないかの児童確認。

4 備考

- (1) 火災が発生する場所についてはいろいろな箇所が想定されるが, 特によく火を使用する給食室, 管理員室, 職員室, 理科室, 家庭科室, その他とする。
- (2) 普通教室で火を使用する理科実験等はしない。
- (3) 災害, 地震, 校内侵入者等については, 本部の指示を待って適切な避難経路等を使うなどして, 児童の安全確保に努める。
- (4) 児童の避難後, 児童の安全を確認し, 職員は分担された各係につく。
- (5) 年度当初, 4月中旬に避難経路を児童と共に確認すること。(朝の時間の確保をお願いします)
※避難は3階の児童が内側を2階の児童が外側を通る。
- (6) 訓練は, 1回目: 火災。2回目: 地震・火災。3回目: 不審者対策を想定して行う。
(※登下校中の声かけ等についても指導する。)
- (7) 避難場所は, 年度当初に「あ」「い」「う」「え」「お」「か」それぞれの場所(運動場の看板)を割り当てる。
- (8) 安全対策として, 常時, 職員用名札とホイッスルを携帯する。